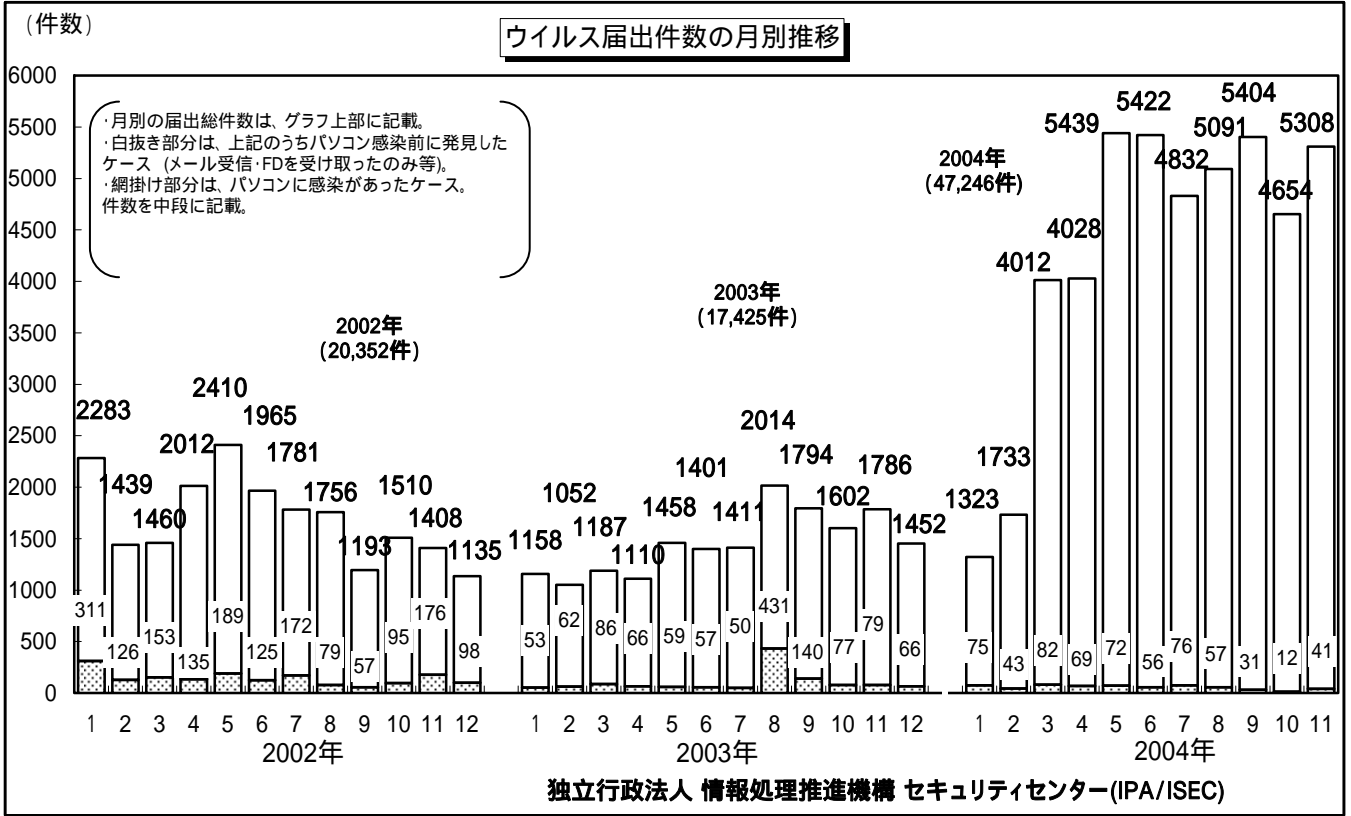


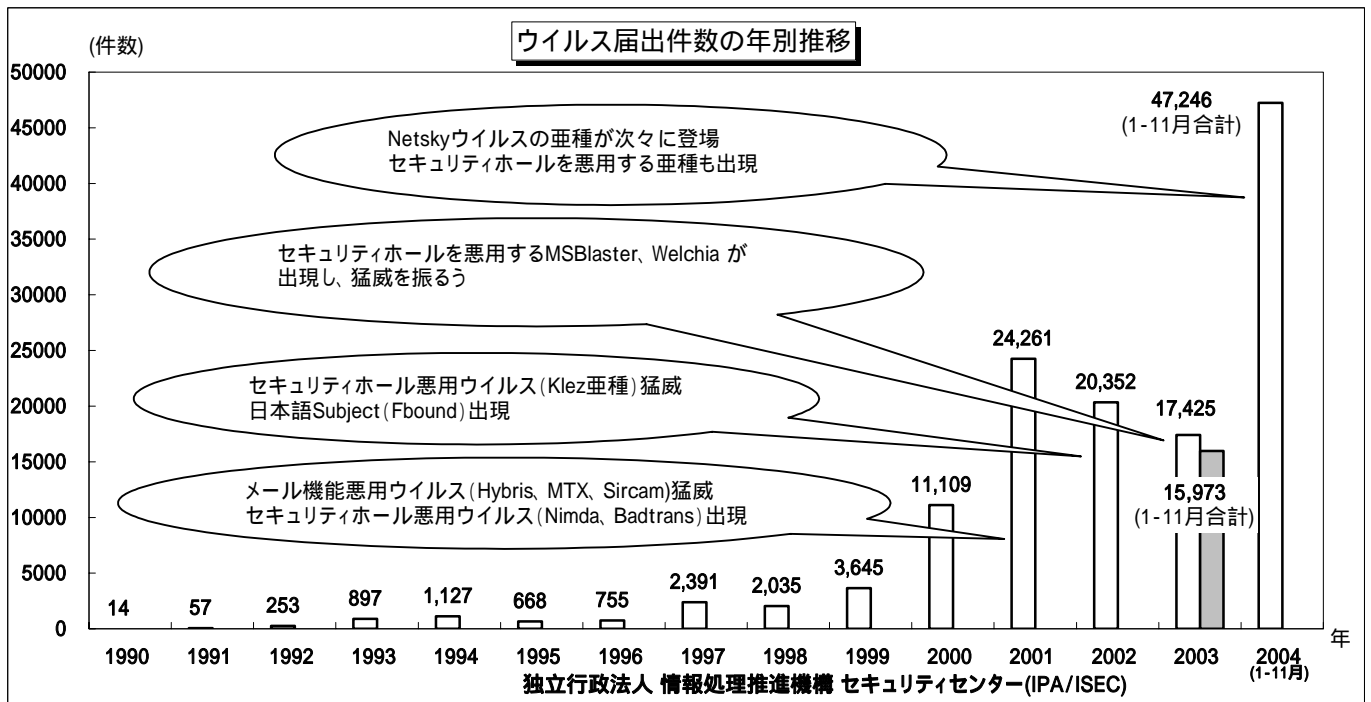
コンピュータウイルスの届出状況について [詳細]

・ウイルス届出の詳細

1. ウイルス届出件数の月別推移



2. ウイルス届出件数の年別推移



注) ウイルス名欄での各記号はそれぞれ下記の内容を示す。

記号	対象ウイルス
W32	Windows32 ビット環境下で動作
XM	MSEXCEL95、97 (ExcelMacro の略)
WM	MSWORD95、97 (WordMacro の略)
W97M	MSWORD97 (Word97Macro の略)
X97M	MSEXCEL97 (Excel97Macro の略)
W97M/X97M/P97M	MSWORD97、MSEXCEL97、MSPowerpoint97 (Word97Macro/Excel97Macro/PowerPoint97Macro の略)
VBS	VisualBasicScript で記述
Wscript	WindowsScriptingHost 環境下で動作 (VBS を除く)
SymbOS	Symbian OS 環境下で動作

4. 11月にIPAに初めて届出のあったウイルスの概要

W32/Bofra (ボフラ)

このウイルスは、パソコン内にあるアドレス帳からメールアドレスを収集し、取得できたアドレスに対して、メールを送信する活動を行います。

メール本文に記載されたリンクをクリックすると、ウイルスファイルがダウンロードされて感染し、Windowsのsystemフォルダにランダムなファイル名で保存・実行されます。さらに、レジストリファイルを変更することによって、Windowsの起動時に必ずウイルスが実行されるように設定します。また、バックドアを設定し、外部からのコマンドを受け付けるようになります。

W32/Golten (ゴルテン)

このウイルスは、ネットワーク共有フォルダを検索し、自身の保有するユーザ名とパスワードを使い、アクセスできた場合はウイルスファイルをコピーすることで感染を拡大します。

感染すると、パソコン内にウイルスファイルを作成し、レジストリファイルを変更することによって、Windowsの起動時に必ずウイルスが実行されるように設定します。

VBS/Zeha (ゼハ)

このウイルスは、スクリプトウイルスで、感染ファイルのやり取りによって感染します。

感染すると、拡張子が、.VBS .HTML .HTM .HTA .HTT のファイルに自分自身を付加することで感染を拡大します。メール送信やネットワーク共有を利用した感染拡大の機能はありません。

W97M/Wrench (レンチ)

このウイルスは、Word ファイルに感染するマクロウイルスです。感染ファイルを開くと、NORMAL.DOT (標準テンプレート) に感染し、Word を起動するたびに動作するようになります。

SymbOS/Cabir (キャビル)

このウイルスは、SymbianOS の携帯電話で動作するウイルスです。(動作する携帯電話は限られます。)感染すると、Bluetooth 対応機器に対して自分自身を送信します。なお、このウイルスは、携帯電話においても自己複製プログラムが作成できることを証明した最初のウイルスです。

注：届出者のPCで検知されており、実際に携帯電話で感染が拡大しているものではありません。

5. 届出者別件数

一番多い届出は、一般法人ユーザからのもので、約88%を占めています。

届出者	届出件数					
	2004年11月		2004年10月(前月)		2003年11月(前年同月)	
一般法人ユーザ	4,688	88.3%	4,100	88.1%	1,575	88.2%
個人ユーザ	229	4.3%	234	5.0%	106	5.9%
教育・研究機関	391	7.4%	320	6.9%	105	5.9%

6. 地域別件数

関東地方が最も多く、続いて近畿地方、中部地方の順となっています。

地 域	届 出 件 数					
	2004年11月		2004年10月(前月)		2003年11月(前年同月)	
北海道地方	9	0.2%	4	0.1%	1	0.1%
東北地方	95	1.8%	27	0.6%	32	1.8%
関東地方	4,117	77.6%	3,398	73.0%	1,169	65.5%
中部地方	334	6.3%	690	14.8%	282	15.8%
近畿地方	711	13.4%	494	10.6%	274	15.3%
中国地方	1	0%	3	0.1%	5	0.3%
四国地方	40	0.8%	35	0.8%	1	0.1%
九州地方	1	0%	3	0.1%	22	1.2%

7. 感染経路別件数

メールにより感染したケースが最も多く、届出件数の約99%を占めています。

感 染 経 路	届 出 件 数					
	2004年11月		2004年10月(前月)		2003年11月(前年同月)	
メール	5,229	98.5%	4,586	98.5%	1,650	92.4%
外部からの媒体	3	0.1%	1	0%	20	1.1%
ダウンロード()	5	0.1%	6	0.1%	4	0.2%
ネットワーク	62	1.2%	51	1.1%	60	3.4%
不明・その他	9	0.2%	10	0.2%	52	2.9%

()ホームページからの感染を含む

8. 感染台数

感 染 台 数	届 出 件 数					
	2004年11月		2004年10月(前月)		2003年11月(前年同月)	
0台	5,267	99.2%	4,642	99.7%	1,707	95.6%
1台	26	0.5%	7	0.2%	53	3.0%
2台以上 5台未満	8	0.2%	3	0.1%	13	0.7%
5台以上 10台未満	2	0%	1	0%	4	0.2%
10台以上 20台未満	2	0%	0	0%	5	0.3%
20台以上 50台未満	2	0%	0	0%	2	0.1%
50台以上	1	0%	1	0%	2	0.1%

・コンピュータウイルスに関する届出制度について

コンピュータウイルスに関する届出制度は、経済産業省のコンピュータウイルス対策基準に基づき、平成2年4月にスタートした制度であって、コンピュータウイルスを発見したものは被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報をIPAに届け出ることとされています。

IPAでは、個別に届出者への対応を行っていますが、同時に受理した届出等を基に、コンピュータウイルス対策を検討しています。また受理した届出は、届出者のプライバシーを侵害することがないように配慮した上で、被害等の状況を分析し、検討結果を定期的に公表しています。

コンピュータウイルス対策基準

- ・ 通商産業省告示第139号 平成2年4月10日制定
- ・ 通商産業省告示第429号 平成7年7月7日改訂
- ・ 通商産業省告示第535号 平成9年9月24日改訂
- ・ 通商産業省告示第952号 平成12年12月28日改訂
- ・ 経済産業省告示第2号 平成16年1月5日改訂

お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター

花村 / 加藤 / 内山

Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp